



中部電力

2022年度 決算説明資料

2023年4月28日

I	2022年度 決算概要	<スライド番号>
	決算概要 1
	セグメント別決算概要 4
	発電電力量 8
	（参考）期ずれ影響のイメージ（実績） 9
	2023年度 業績見通し10
	株主還元に関する考え方および当期・次期の配当12
	（参考）期ずれ影響のイメージ（見通し）13
II	参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
	連結収支比較表14
	連結財政状態の概要15
	連結キャッシュ・フロー16
	2023年度 セグメント別業績見通し17
	財務関連指標18

I 2022年度 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

決算概要①

〈決算のポイント〉(連結)

- 売上高：3兆9,866億円
燃料費調整額の増加（+8,362億円※）などから、前期に比べ1兆2,815億円の増収
※電気価格激変緩和対策補助金 + 563億円を含む
- 経常損益：651億円
JERAにおいてLNGスポット価格の高騰による収支の悪化はあったものの、期ずれ差損の縮小（+350億円）やミライズにおける電源調達ポートフォリオの見直しなどによる市場高騰影響の抑制、調達コストを踏まえた販売活動の展開などにより、前期に比べ1,244億円の増益
- 親会社株主に帰属する当期純損益：382億円
独占禁止法関連損失（△275億円）や、子会社等における固定資産の減損損失（△142億円）を特別損失として計上したものの、政策保有株式の一部を売却したことなどにより有価証券売却益（+453億円）を特別利益として計上したことなどから、前期に比べ812億円の増益

- ・ 売上高は、2019年度以来、3年ぶりの増収
- ・ 経常損益は、2020年度以来、2年ぶりの増益
- ・ 2019年度以来、3年ぶりの増収増益 (億円,%)

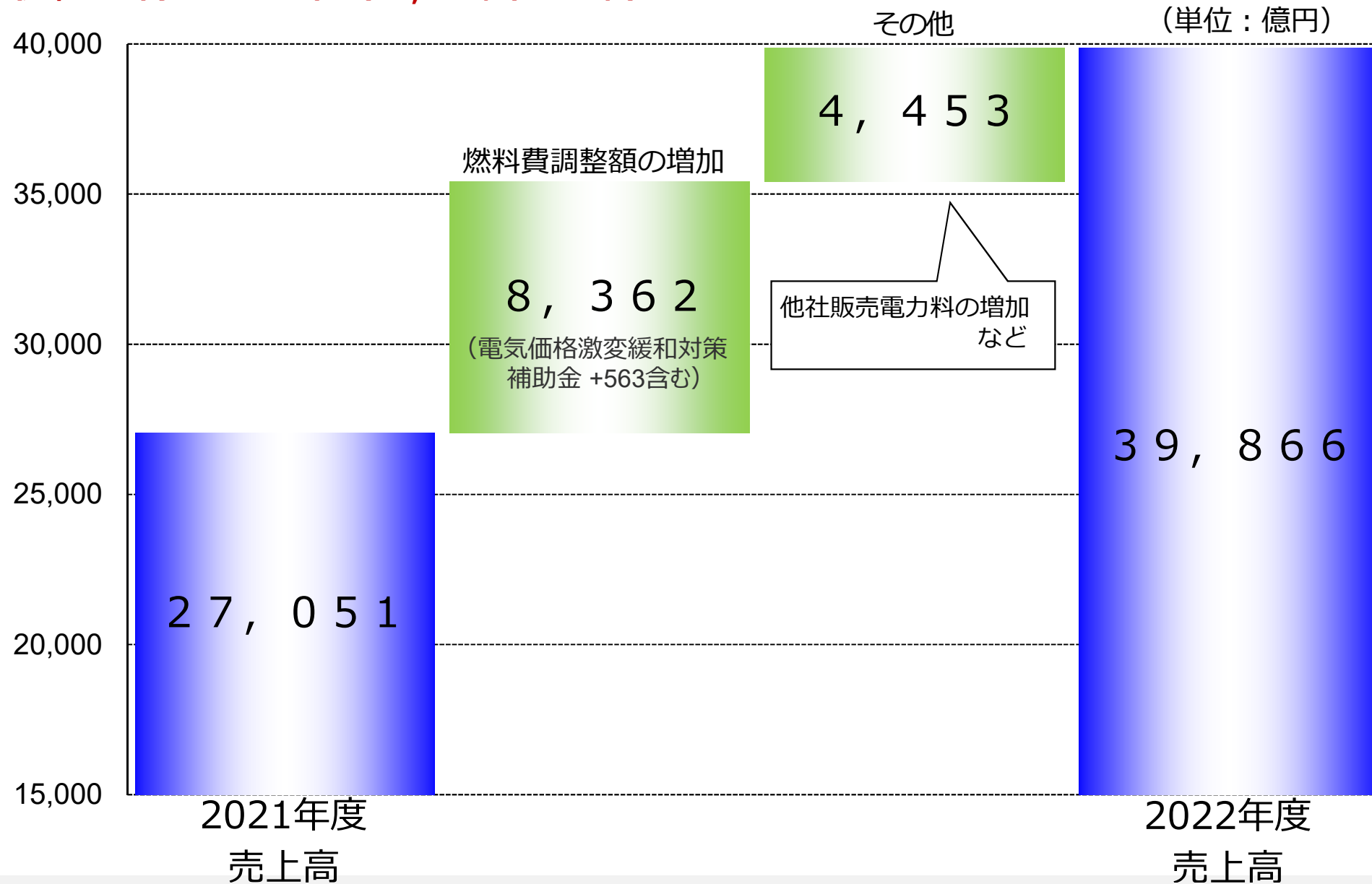
	2022年度 (A)	2021年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	39,866	27,051	12,815	47.4
営業損益	1,070	△538	1,609	—
経常損益	651 (1,560程度)	△593 (670程度)	1,244 (890程度)	— (132.8)
渴水準備引当金取崩し	3	203	△200	△98.4
特別利益	453	—	453	—
特別損失	417	55	362	658.4
親会社株主に帰属する当期純損益	382	△430	812	—

(注)・連結対象会社数 2022年度 連結子会社 62社(△3社) 持分法適用会社 72社(+8社) [()内は前期差]

・ ()内は期ずれ除き経常損益

決算概要②

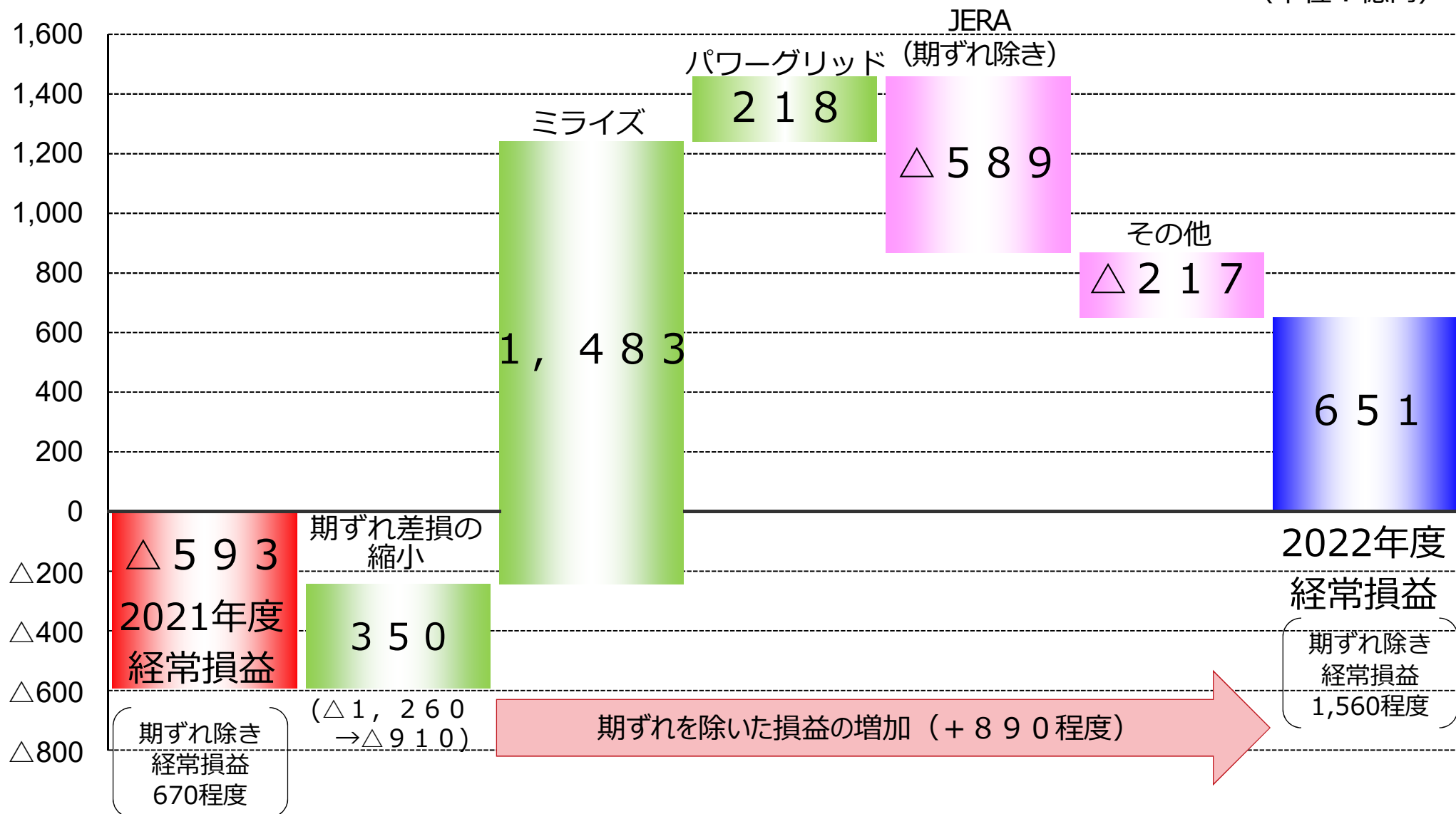
〈連結売上高の変動要因〉 (12,815億円の増収)



決算概要③

〈連結経常損益の変動要因〉 (1,244億円の増益)

(単位：億円)



セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2022年度 (A)	2021年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	30,908	20,281	10,626	52.4
パワーグリッド	11,161	8,995	2,166	24.1
その他(※1)	8,668	8,317	350	4.2
調整額	△10,872	△10,543	△328	3.1
合計	39,866	27,051	12,815	47.4

【経常損益】

(億円,%)

	2022年度 (A)	2021年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	648	△834	1,483	—
パワーグリッド	70	△148	218	—
J E R A (※2)	△242	△3	△239	大
その他(※1)	529	1,233	△704	△57.1
調整額	△353	△840	487	△57.9
合計	651	△593	1,244	—

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

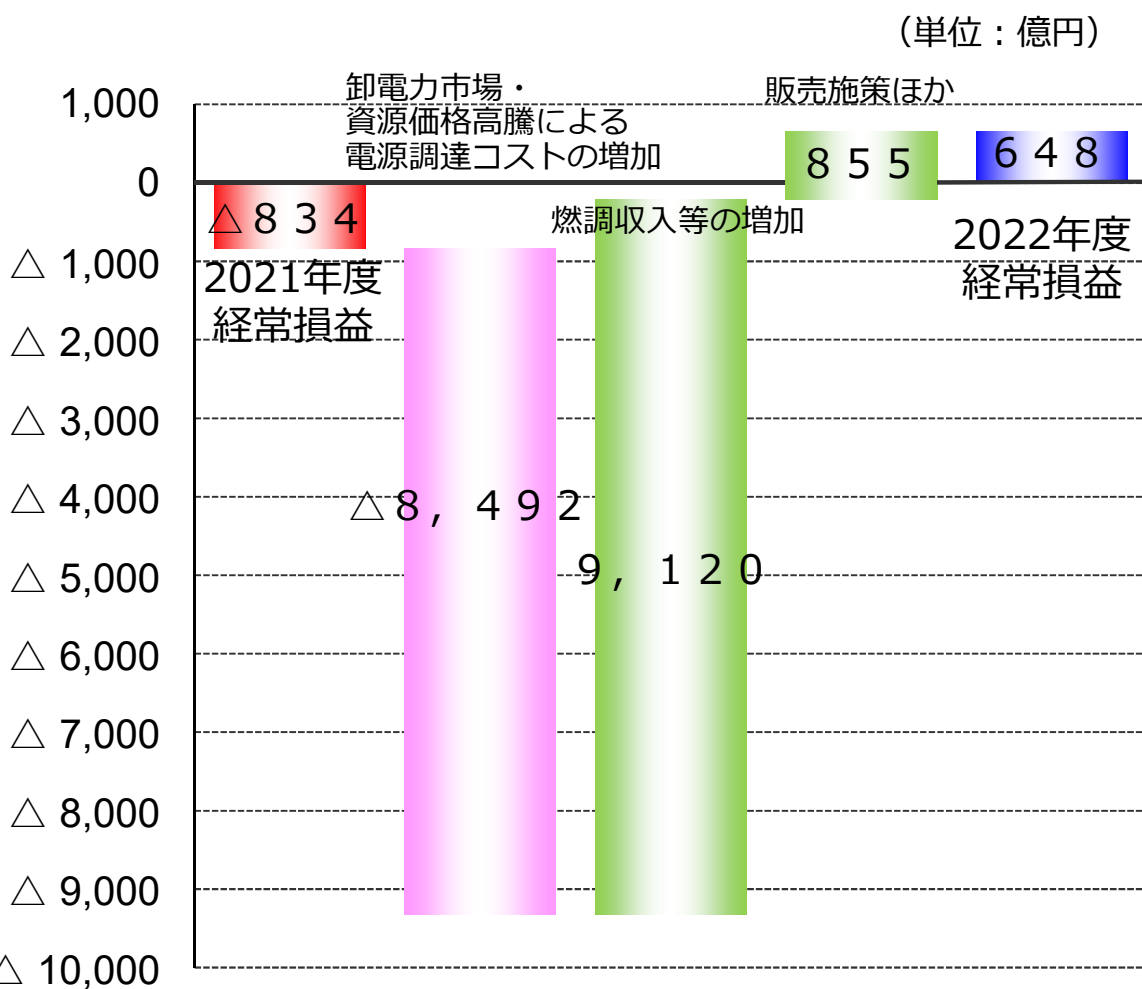
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常損益の変動要因〉

- 卸電力市場価格の高騰はあったものの、電源調達ポートフォリオの見直しなどによる市場高騰影響の抑制や調達コストを踏まえた販売活動の展開などにより、前期に比べ 1,483億円の増益



(販売電力量)

(億kWh,%)

	'22年度 (A)	'21年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	306	326	△20	△6.1
高圧・特別高圧	718	763	△45	△5.9
合計	1,024	1,089	△65	△6.0

競争影響△40程度、気温・景気等△25程度

[参考]

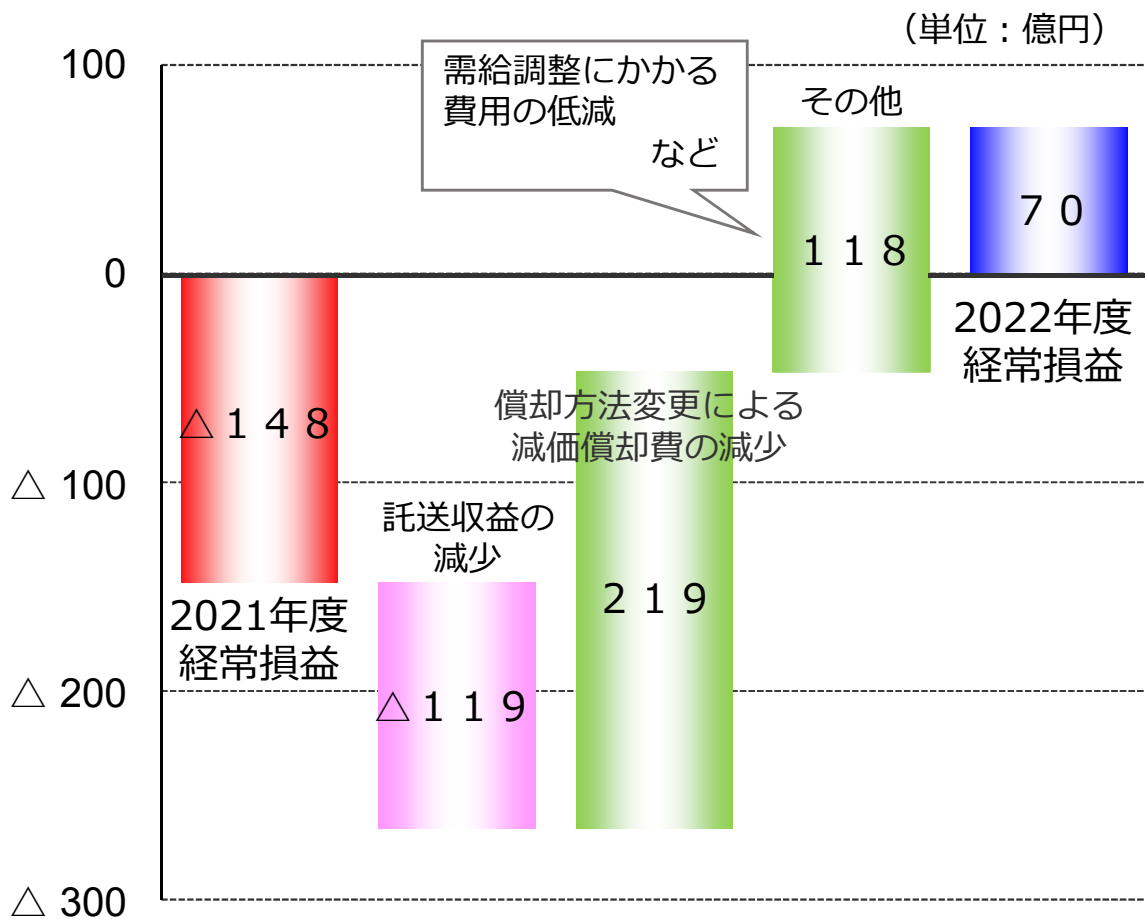
グループ合計の 販売電力量	1,130	1,178	△48	△4.1
他社販売電力量	111	113	△2	△1.6

- ※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。
- ※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。
- ※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常損益の変動要因〉

- 託送収益の減少はあったものの、償却方法変更による減価償却費の減少や、需給調整にかかる費用の低減に取り組んだことなどから、前期に比べ 218億円の増益



(エリア需要)

	'22年度 (A)	'21年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	388	403	△14	△3.5
高圧・特高	855	872	△17	△2.0
合計	1,243	1,275	△31	△2.4

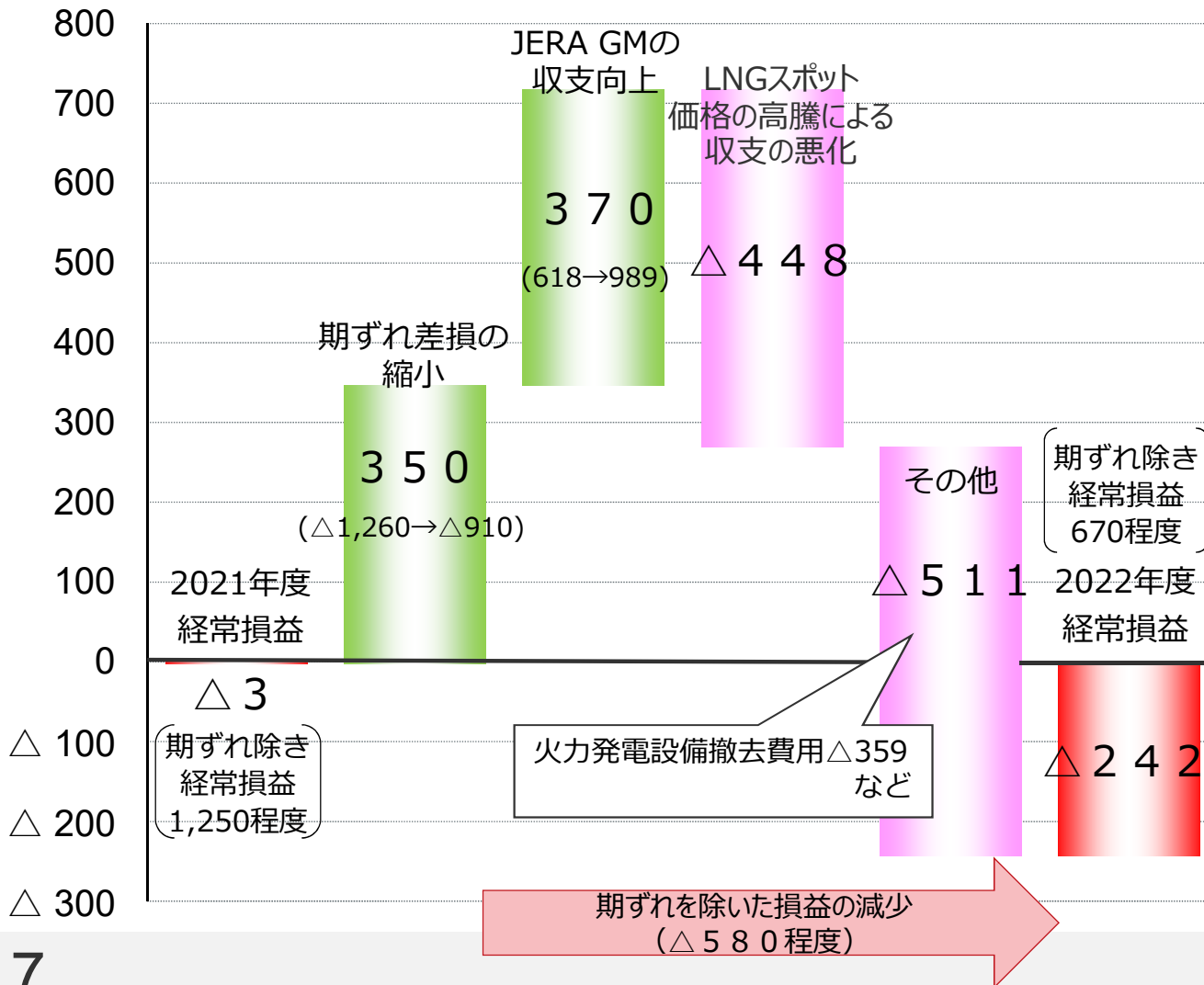
(億kWh,%)

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常損益の変動要因〉

- 期ずれ差損の縮小はあったものの、LNGスポット価格の高騰による収支の悪化などにより、前期に比べて239億円の減益（参考）期ずれを除いた経常損益：670億円程度（前期に比べ 580億円程度の減益）

（単位：億円）



（CIF価格・為替レート）

	'22年度 (A)	'21年度 (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	102.7	77.2	25.5
為替レート(円/\$)	135.5	112.4	23.1

※2022年度の原油CIF価格は速報値

（参考：JERA連結決算値）（億円）

	'22年度 (A)	'21年度 (B)	増減 (A-B)
連結純損益	178 (2,000程度)	56 (2,480程度)	121 (△480程度)

() 内は期ずれ除き連結純損益

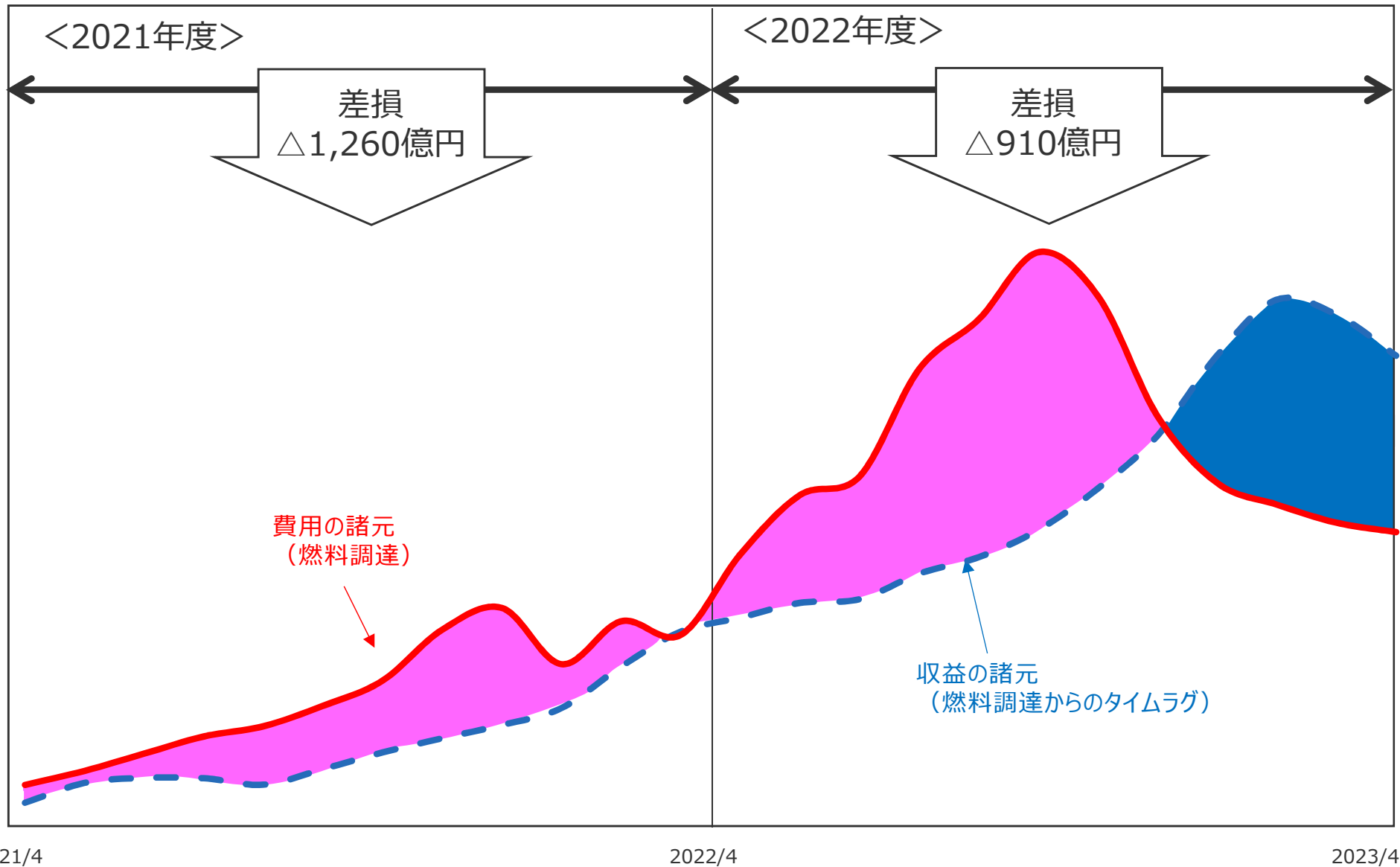
〈発電電力量〉（中部電力）

- 水力 前期並み
- 新エネルギー 前期並み

(億kWh,%)

	2022年度 (A)	2021年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	83 (94.8)	83 (98.1)	0 (△3.3)	0.4
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	4	4	0	1.8
合計	87	87	0	0.5

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



2023年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結)

- 売上高：3兆7,000億円
燃料価格下落に伴う燃料費調整額の減少などから、2,900億円程度の減収
- 経常損益：2,800億円
期ずれが差損から差益に転じることや、託送料金見直しによりパワーグリッドの収益が増加することなどから、2,150億円程度の増益

- ・ 売上高は、2021年度以来、2年ぶりの減収
- ・ 経常損益は、2022年度に続き、2年連続の増益
- ・ 2020年度以来、3年ぶりの減収増益

(億円,%)

	2023年度予想 (A)	2022年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	37,000	39,866	△2,900程度	△7.2
経常損益	2,800 (2,000程度)	651 (1,560程度)	2,150程度 (440程度)	329.8 (28.1)
親会社株主に帰属する当期純損益	2,300	382	1,920程度	501.6

() 内は期ずれ除き経常損益

2023年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

競争影響+30程度、景気等△9程度

(億kWh,%)

	2023年度予想 (A)	2022年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,045	1,024	21	2.0
グループ合計の販売電力量	1,123	1,130	△7	△0.6

※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

	2023年度予想	2022年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	77程度	103
為替レート (円/\$)	127程度	136
原子力利用率 (%)	—	—

株主還元に関する考え方および当期・次期の配当

〈株主還元に関する考え方〉

- 電力の安全・安定的な供給のための設備投資を継続的に進めつつ、成長分野への投資を推進することで、持続的な成長を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。
- 株主還元については、重要な使命と認識し、安定的な配当の継続を基本としながら、利益の成長を踏まえた還元を努め、連結配当性向 30%以上を目指してまいります。

〈当期(2022年度)の配当〉

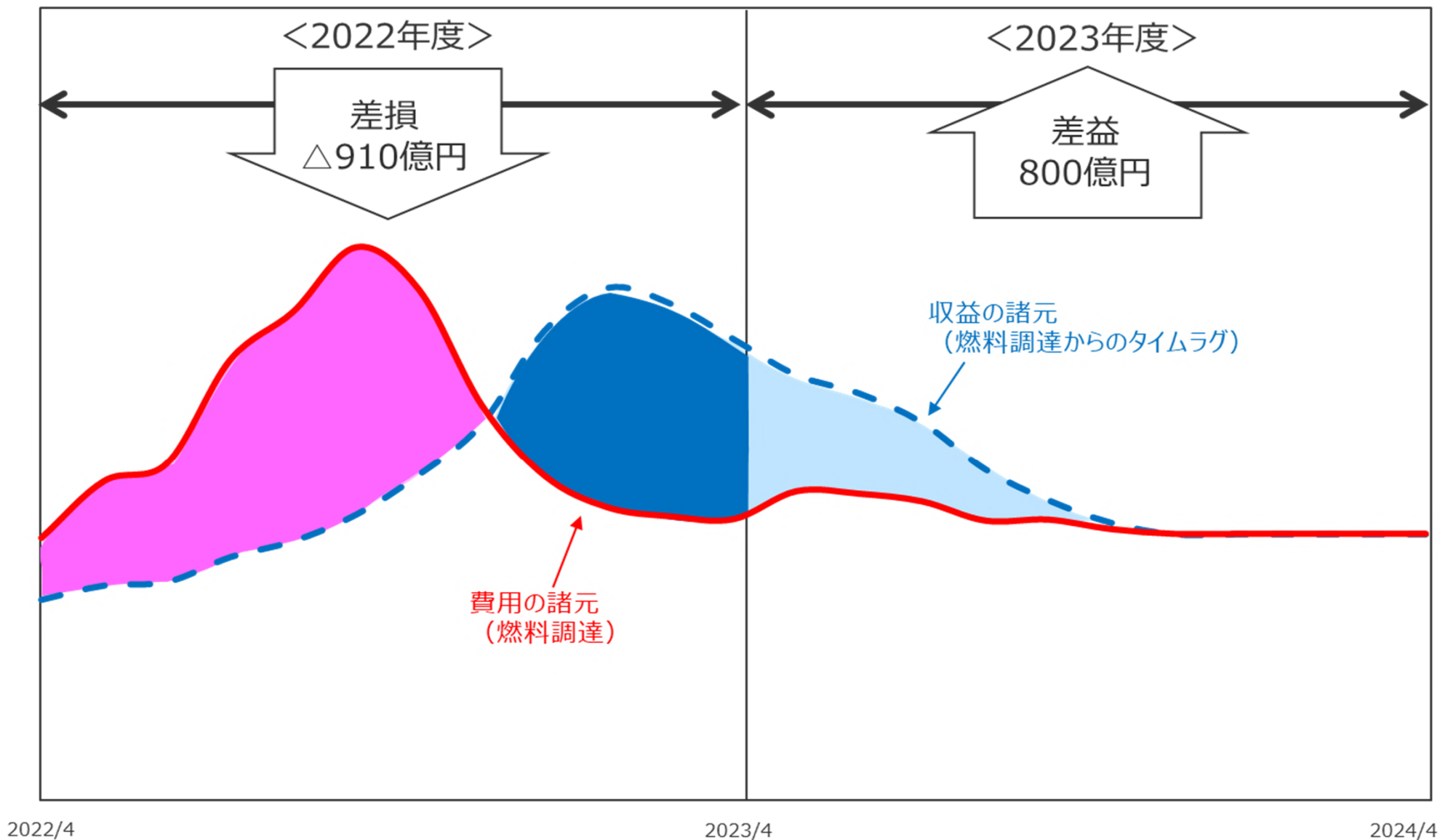
- 2022年度の期末配当金については、上記「株主還元に関する考え方」に基づき、中間配当金と同様、1株につき**25円**を予定しております。

	2022年度	2021年度
1株当たり 中間配当金	25円	25円
1株当たり 期末配当金	25円	25円
合計	50円	50円
期ずれ補正後の 連結配当性向	29.3%	45.6%

〈次期(2023年度)の配当〉

- 2023年度の配当予想については、上記「株主還元に関する考え方」に基づき、2022年度の年間配当を継続する水準である、1株につき **年間50円**を予定しております。

(参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)



Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2022年度 (A)	2021年度 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	39,866	27,051	12,815	47.4
持分法による投資利益	—	54	△54	—
その他収益	107	171	△64	△37.5
営業外収益	107	225	△118	△52.5
経常収益	39,974	27,277	12,696	46.5
営業費用	38,795	27,589	11,205	40.6
持分法による投資損失	129	—	129	—
その他費用	396	280	115	41.3
営業外費用	526	280	245	87.5
経常費用	39,322	27,870	11,451	41.1
(営業損益)	(1,070)	(△538)	(1,609)	(—)
経常損益	651	△593	1,244	—
渴水準備引当金取崩し	3	203	△200	△98.4
特別利益	453	—	453	—
特別損失	417	55	362	658.4
法人税等	311	△43	354	—
非支配株主に帰属する当期純損益	△3	28	△32	—
親会社株主に帰属する当期純損益	382	△430	812	—

連結財政状態の概要

(億円)

	2023/3末 (A)	2022/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	64,551	61,747	2,803
負債	42,928	40,514	2,414
純資産	21,622	21,232	389

	2023/3末 (A)	2022/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	31.9	32.7	△0.8
有利子負債残高	29,257	28,002	1,254

連結キャッシュ・フロー

(億円)

	2022年度 (A)	2021年度 (B)	増減 (A-B)
営業活動による キャッシュ・フロー ①	2,957	216	2,741
投資活動による キャッシュ・フロー ②	△1,969	△2,620	650
財務活動による キャッシュ・フロー ③	732	2,664	△1,931
現金および現金同等物の 増減額(※) ① + ② + ③	1,723	262	1,460

※連結範囲の変更に伴う現預金等の増減額を含む

フリー・キャッシュ・フロー ① + ②	988	△2,403	3,392
------------------------	-----	--------	-------

2023年度 セグメント別業績見通し



【経常損益】

(億円,%)

	2023年度予想 (A)	2022年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	750 (700)	648 (648)	100程度 (50程度)	15.6 (7.9)
パワーグリッド	700	70	630程度	895.0
J E R A	1,250 (500)	△242 (670程度)	1,490程度 (△170程度)	— (△25.1)
その他・調整額	100	175	△70程度	△42.9
合計	2,800 (2,000程度)	651 (1,560程度)	2,150程度 (440程度)	329.8 (28.1)

() 内は期ずれ除き経常損益

(参考) JERA連結業績見通し

	2023年度予想 (A)	2022年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
J E R A 連結純損益	3,000 (1,500程度)	178 (2,000程度)	2,820程度 (△500程度)	大 (△25.0)

() 内は期ずれ除き連結純損益

(%)

	2023年度予想	2022年度実績	2025年度 中期経営計画公表
ROI C	3.0程度	2.9	3.0以上
ROA	3.0程度	2.8	—
ROE	7.0程度	6.3	7.0程度

※ 期ずれ除きの数値

本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。